

鴨川市の鴨川シーワールドは9日夕、園内の「ウミガメの浜」でふ化したアカウミガメ55匹を東条海岸へと放流した。通常はふ化したすぐに海へと放流するが、台風5号を懸念し、一時保護していた。子ガメはみな無事に大海原へ巣立っていった。

同園は2002年か

ら、市内でふ化に適さない場所に産卵されたアカウミガメの卵をウミガメ専用施設に設置した砂浜に収容。生まれた子ガメを海へと放流している。

ら顔を出した。同園は台風上陸が予報されず、水には入れず湿度を保った。で、強風域に入っていることから、子ガメを保護することにした。アカウミガメは水に入ると歩けなくなることを



台風乗り越え大海原へ 一時保護の子ガメ放流

鴨川シーワールド

台風5号の影響で一時保護していたふ化したばかりのアカウミガメを放流する鴨川シーワールド担当者9日夕、鴨川市

と渡る特設栈橋を設置。保護していた子ガメを放し、子ガメたちは一歩一歩砂浜を歩き、海へと旅だって行った。

同園の大澤彰久魚類展示課長は「保護していたのに危険にさらすのは良くないと思い、念のため様子を見た。元気に歩いていて良かった。頑張って生きて成長してほしい」と話した。